

此頃小望遠鏡で面白い星

N K 生

○ペルセウス座ε

赤経 3 時 52.5 分 赤緯 39° 47'
3.1 等 : 8.3 等 位置角 9° 距離 8.8''

白對青の美しい星である。2 時 100 倍で見える。3 時なら容易。

○牡牛座θ 肉眼的二重星

赤経 4 時 24.0 分 赤緯北 15° 48'
3.62 等 : 4.04 等 位置角 346° 距離 337''

ピアデス群を見る人は誰れも気がつく美しい肉眼的重星である。双眼鏡又は一時位で美しい。此の星の近くに w さいふ長週期變光星がある。

○オリオン座η 二重星

赤経 5 時 20.5 分 赤緯南 2° 28'
位置角 80° 距離 1.2''

英國の素天文観測家ダウエス Dawes 氏の發見した重星で伴星の色は紫に近い。4 時の絶好の試験星で 4 時 2'00 で良い夜なら二重に見える。良い 3 時でも 150 倍で容易に主星と重つた伴星を認める事が出来る。3 時を持つ人は調べて見なさい。

○オリオン座δ 二重星

赤経 5 時 27.9 分 赤緯南 0° 21'
2.5 等 : 6.9 等 位置角 359° 距離 52.7''

殆んど赤道にある。離れた對であるから伴星の色は仲々美しい。

○N. G. C. 2422 H VIII 38 散開星團

赤経 7 時 32.9 分 赤緯南 14° 18'

随分大きな星團で肉眼に立派に見えて居る。3 時なれば散開せる美しい星團に見えるが低倍率に限る。同じ視野 p に Espin-Birmingham 238 なる 5 等の赤星がある。

○M 46 N. G. C. 2437 星團

赤経 7 時 38.1 分 赤緯南 14° 38'

N. G. C. 2422 のすぐ近くにある淡い星の集合した丸い群で 1 時の望遠鏡で認め得る 3 時 80 倍だと多数の星が見えるが何れも淡い。一つ見逃してならぬものがある。3 時だと多くの人が気がつかぬかも知れないが mf に小さい緑色の淡い圓形のもが目の好い人には認められる。此れは N. G. C. 2438 と呼ばれる遊星狀星雲で 10 時であるとも明るいのが特別な色だけに 10 時でも見えない人がある。

○M 93 N. G. C. 2447 星團

赤経 7 時 41.2 分 赤緯南 23° 4'

アルコ座ζの北西にある美しい星團である。3 時で仲々よく見える。星数は多いが形は不規則である。

○蟹座ζ 三連星

赤経 8 時 7.6 分 赤緯北 17° 54'

2 時位で見ると距離 4.8 秒の二重星に見える(位置角 113°)が其一星が接近した連星で有名な三連星を作つて居る。連星系を作つて居る二星は 5.6 等と 6.3 等との對で現在の位置は 265° 距離 0.8'' である。3 時でも良いものなれば 150 倍で長くなつて居るのが判然と分かる。しかし完全に分離して見るには 6 時を要する。週期は 60 年で距離は 0.5 秒から 1.1 秒までかわる。Σ の發見にかゝる。此の二つとの伴星は直線運動をして居る。

○M 44 N. G. C. 2632 プレセープ

赤経 8 時 35.5 分 赤緯北 20° 16'

プレセープ(Praesepe)蜂の巣と稱せられる星團で大低等の星圖にも出て居るが大きな群で晴夜なれば直ちに見つけ得る。良い目を持つ人は肉眼でも多数の星が見える。双眼鏡なれば多数の星の集合に見える。大きい爲に 30 倍位が最上で大きな倍率では美が

失はれる。星数は割に少ない。

○龍座^o

赤經 18時 50.0分 赤緯北 59° 17'
4.6等 : 7.6等 位置角 346° 距離 30.3"
探しにくい星である。黄對青である。

○双子座^δ 二重星

赤經 7時 15.3分 赤緯 22° 8'
3.2等 : 8.2等 位置角 213° 距離 6.4"

黄對青の美しい二重星である。3時 80倍で立派に見える。

○ Σ 14 重星

赤經 2時 47.1分 赤緯北 52° 40'
7.1等 : 7.3等 位置角 304° 距離 1.6"

ペルセウス座に隣つた二つの星の大きな方で光度ほぼ等しく距離 1.6" であるから 3時の良い試験星である。非常に困難な星でよほど良い 3時レンズでないか二つには見えぬ。3時なら見えるが 150倍以上を要する。多分長週期の連星である。

○N. C. C. 1647 H. VIII 8 星團

赤經 4時 41.4分 赤緯 18° 55'

比較的大きな星の群で散開して居て 2時で立派に見える。直径も大きい。

○M 7 8 N. G. C. 2068 星雲

赤經 5時 42.6分 赤緯北 0° 2'

オリオン^ζの 2°北にある不正形の星雲でリツクの寫眞では此の中に二三の星が混じて居る珍しい形のもので 3時でも珍な形をして居る此のすぐ北側に小星のそばにも一つ星雲がある。此のバックはオリオン星雲のあたりから北に延びて居る暗黒星雲部で薄星が少ない事で分かる。

○M 37 N. G. C. 2709 散開星團

赤經 5時 47.1分 赤緯 32° 32'

非常に美しい星團で肉眼にも見える。星は割に小さいから 2時ではそう澤山は見えぬが 10時には壯大なものであつて星團中最美の一つである。

火星近況

火星の最近の觀測及び豫想を御知らせする爲に觀測日記の様にして連続したものを書きます。

12月1日

午前6時

3時 150倍 Seeing 6

視直径未だ 4秒で空気が悪く甚だ困難。像は鋭く明瞭である。兩極は明るく爲に火星は桃形になつて居る。南極近くに明らかに暗色の海を認める。北極近くにも淡いものが認められる。

訂 正

前號「事務室より」中に廣告せし Wonders of the Heavens (Splendors of the Heavens にて 1ポンド 3シリリングは 1シリリング 3ペンスの誤につき訂正す。